

西尾市立西野町小学校

ふるさを大切に思い、自ら考え、高め合う子の育成

～ふるさとの「人・もの・こと」を生かした「茶育」の実践と

子供の思考を大切にした授業づくりを通して～



地域ブランド「西尾の抹茶」の学習や御殿万歳の保存・継承を核に、子供たちが郷土の「人・もの・こと」に親しみながら学ぶ中で、地域を愛し、ふるさを大切に思う心を育てる。

子供の思考の流れに沿った授業づくりに取り組み、子供の主体性と他者を思いやる協働・共生の心を育てる。



※「茶育」とは、「茶の心」（思いやりの心、ほっとする心、ふるさを思う心）を育てる西野町小学校独自の教育活動

◎「茶育」－ふるさを大切に思い、思いやりの心を育む－



地域に親しむ（第3学年） 手もみ茶体験

地域の特産物に直接触れ、ふるさとの「もの」への親しみと理解を深める第一歩。



産業と苦勞を知る（第4～6学年） 校外茶摘み体験



実際の茶畑での体験を通し、地域産業の重要性と、農作物の栽培や流通に関わる「人」の努力・生き方を学ぶ。



感謝を伝え、もてなす(全校児童) 西野町茶会

保護者や地域の方々へのおもてなしを通し、感謝の心を表現。地域社会との絆を深め、茶の心を高める。

1～4年生：保護者と一緒におもてなしの心を体験
5・6年生：おもてなしの心で茶を点てる



スクールキャラクター
おまっちゃん

ふるさとの「人・もの・こと」にふれる教育活動

- ・総合的な学習の時間や社会科の学習で、地域のお茶産業を通して、農作物の栽培の工夫・努力や流通を学ぶ。
- ・地域の方から抹茶産業への思いや西野町の歴史的遺産を学び、ふるさとの産業・歴史への理解を深める。
- ・西尾市文化財課と連携し、御殿万歳の保存・継承の価値を感じ取り、伝統文化を守ろうとする心情を高める。



◎主体性を育む授業改善と環境づくり

